

「平成28年度 第2回県政モニターアンケート調査」 調査結果（概要）

県政モニターの皆様に対して、県政運営の参考とするために下記のとおりアンケート調査を行いました。

1 調査方法

- (1) 調査地域 : 長野県全域
 (2) 調査対象者 : 県政モニター(県内在住の18歳以上の男女)
 1,231人(無作為抽出1,128人、公募103人)
 (現在の県政モニターは平成28年7月から登録)
 (3) 調査方法 : 郵送又はインターネット
 (4) 調査期間 : 平成28年11月25日(金)～平成28年12月12日(月)

2 調査内容

次の5項目について17問を設定

- (1) 信州の地酒普及促進・乾杯条例について
 (2) がんの予防・検診、がん相談支援センターについて
 (3) 里親制度について
 (4) 長野県の森林・林業について
 (5) 男女共同参画に関する意識について

3 回収状況

回収数 1,018人 (回収率 82.7%)

回答者の内訳

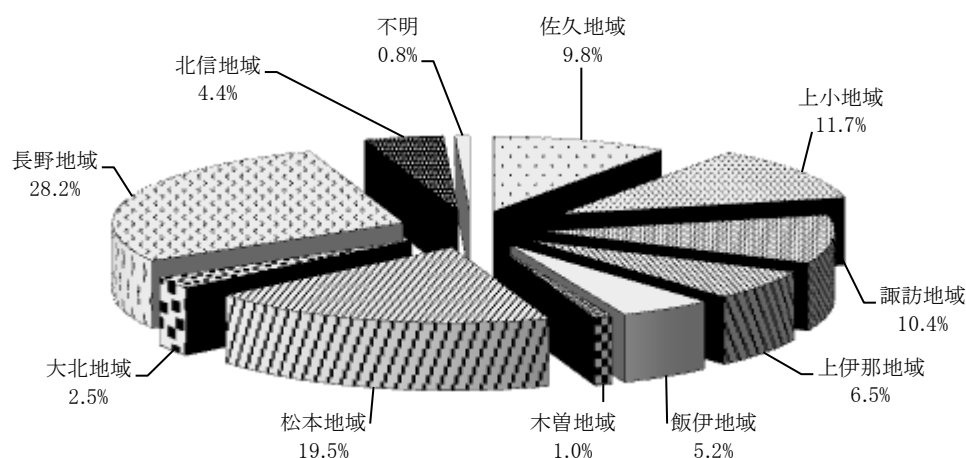
【男女別と年代別】

	総数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	1,018	6	48	102	153	220	306	175	8
	100.0%	0.6%	4.7%	10.0%	15.0%	21.6%	30.1%	17.2%	0.8%
	男性	2	18	36	71	115	175	105	—
	51.3%	0.2%	1.8%	3.5%	7.0%	11.3%	17.2%	10.3%	—
女性	488	4	30	66	82	105	131	70	—
	47.9%	0.4%	2.9%	6.5%	8.1%	10.3%	12.9%	6.9%	—
不明	8	—	—	—	—	—	—	—	8
	0.8%	—	—	—	—	—	—	—	0.8%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=1,018)に対する割合

【地域別】

	総数	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曽	松本	大北	長野	北信	不明
回答者数	1,018	100	119	106	66	53	10	199	25	287	45	8
	100.0%	9.8%	11.7%	10.4%	6.5%	5.2%	1.0%	19.5%	2.5%	28.2%	4.4%	0.8%



1 信州の地酒普及促進・乾杯条例について

問1 信州の地酒普及促進・乾杯条例の認知度

■「知っている」、「聞いたことがある」が合わせて4割超。「知らない」が5割超

① 「知っている」	18.6 %
② 「聞いたことがある」	26.8 %
③ 「知らない」	54.2 %
④ 無回答	0.4 %

(単数回答)

問2 乾杯での信州の地酒の利用状況

■「乾杯条例は知っているが、地酒で乾杯していない」、「特に気にしていない」が合わせて6割超。「信州の地酒で乾杯している」が1割超。「お酒を飲まない／飲めない」が約2割

① 「信州の地酒で乾杯している」	13.2 %
② 「乾杯条例は知っているが、地酒で乾杯していない」	9.8 %
③ 「特に気にしていない」	53.8 %
④ 「お酒を飲まない／飲めない」	21.8 %
⑤ 無回答	1.4 %

(単数回答)

(問2で「乾杯条例は知っているが、地酒で乾杯していない」
「特に気にしていない」と回答した方)

問3 信州の地酒での乾杯を普及するための要望

■「飲食店やホテル・旅館での積極的な提供」が7割超。「購入や注文を促進するPRキャンペーンの実施」が5割超。「販売・提供価格の引き下げ」が約3割

① 「飲食店やホテル・旅館での積極的な提供」	73.3 %
② 「購入や注文を促進するPRキャンペーンの実施」	53.1 %
③ 「販売・提供価格の引き下げ」	29.9 %

(複数回答)

2 がんの予防・検診、がん相談支援センターについて

問4 定期的に受診することが望まれるがん検診の受診状況

■「定期的に受診している」「定期的ではないが受診している」が合わせて約8割

	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
定期的に受診している	55.6%	56.3%	56.9%	41.5%	47.4%
定期的ではないが受診している	28.7%	22.7%	19.7%	36.4%	37.1%
受診していない	13.8%	19.2%	20.3%	19.4%	13.4%
わからない	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%
回答なし	1.9%	1.8%	3.0%	2.3%	2.1%

(単数回答)

(問4で「定期的に受診している」と回答しなかった方)

問5 がん検診を受けない理由

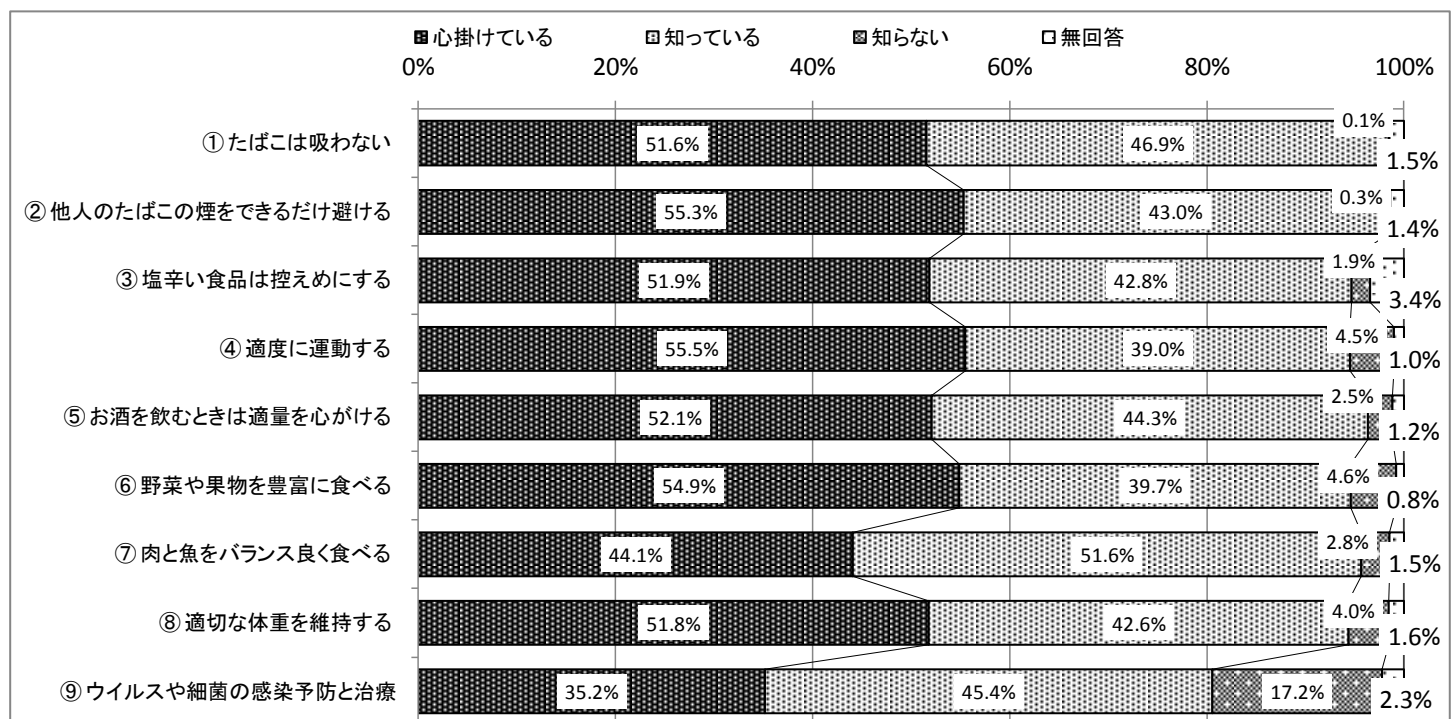
■「心配なときは医療機関を受診できるから」と回答した人が約3割

① 心配なときは医療機関を受診できるから	29.1 %
② 検診費用がかかるから	16.6 %
③ がん検診の日時や場所に都合が合わないから	16.5 %
④ 検査に伴う苦痛に不安があるから	12.1 %
⑤ 定期的に受診するのは面倒だから	12.1 %
⑥ 理由はない/わからない	8.3 %
⑦ うっかり受診するのを忘れてしまっているから	6.1 %
⑧ がんであるとわかるのがこわいから	5.3 %
⑨ がん検診の受け方がわからないから	5.2 %
⑩ がん検診の効果に疑問をもっているから	4.0 %

(複数回答)

問6 がんの予防について

■ ほぼすべての項目で「心がけている」「知っている」を合わせると9割超、「心がけている」が約5割



(単数回答)

問7 がん相談支援センターの認知状況について

■ がん相談支援センターを「知っている」「聞いたことがある」が合わせて約5割

① 「知っている」	21.8 %
② 「聞いたことがある」	28.6 %
③ 「知らない」	49.1 %
④ 無回答	0.5 %

(単数回答)

(問7で「知っている」「聞いたことがある」と回答した方)

問8 がん相談支援センターの機能について知っていること

■ 「地域のがん相談支援センター設置病院がどこか」は7割超が知っているが、「療養上の相談を行っていること」を知っているのは4割超

① 「あなたがお住まいの地域のがん相談支援センター設置病院がどこか」	74.9 %
② 「がん患者の療養上の相談を行っていること」	44.4 %
③ 「セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介を行っていること」	27.9 %
④ 「その病院に通院していなくても誰でも無料で利用できること」	19.7 %
⑤ 「地域の病院の診療機能、入院・外来の待ち時間に関する情報提供を行っていること」	15.6 %
⑥ 「診療従事者（医師等）の専門分野・経歴等に関する情報提供を行っていること」	15.2 %
⑦ 「仕事に関する相談（会社の休業制度や就労支援など）を行っていること」	13.8 %
⑧ 「アスベストによる肺がん等に関する医療相談を行っていること」	10.5 %

(複数回答)

3 里親制度について

問9 里親制度の認知度

■里親制度を「知っている」が約5割、「聞いたことがある」が約4割

① 「知っている」	48.9 %
② 「聞いたことがある」	38.1 %
③ 「知らない」	12.7 %
④ 無回答	0.3 %

(単数回答)

問10 里親制度の詳細

■「養育里親、養子縁組里親といった種類があることも知っていた」、「制度があるということだけを知っていた」がともに3割超

① 「養育里親、養子縁組里親といった種類があることも知っていた」	35.5 %
② 「制度があるということだけを知っていた」	34.7 %
③ 「養子縁組里親は知っていたが、養育里親は知らなかった」	29.7 %

(単数回答)

問11 里親制度をどこで知ったか

■「テレビ」が4割超、「新聞記事」が約2割

① テレビ	45.9 %
② 新聞記事	22.7 %
③ 身近な人から	11.3 %
④ 市町村広報誌	9.6 %
⑤ ラジオ	2.3 %
⑥ インターネットのホームページ	2.1 %

(単数回答)

4 長野県の森林・林業について

問12 森林税の認知度

■ 名称、税額に加え、使い道を知っている方が約3割、名称のみを知っている方を含めると認知度は約8割

①「名称、税額を知っており、使い道もよく知っている」	3.9 % (9.8%)
②「名称、税額を知っており、使い道もある程度知っている」	23.6 % (34.2%)
③「名称、税額は知っているが、使い道はよくわからない」	19.1 % (13.8%)
④「名称は知っているが、税額や使い道は知らない」	31.5 % (27.4%)
⑤「名称、税額、使い道ともに知らない」	21.7 % (14.2%)
⑥ 無回答	0.2 % (0.6%)
	(単数回答)

※ () 内数値は、平成27年度第3回県政モニターアンケート調査数値

問13 森林税を活用した取組を通じた「森林」に対する関心の変化

■ 「関心は高まった」と「どちらかといえば関心は高まった」を合わせて約5割で前年度から減、「変わらない」の回答が前年度から増となったことが主な要因

①「関心は高まった」	11.6 % (13.1%)
②「どちらかといえば関心は高まった」	37.6 % (40.0%)
③「変わらない」	39.8 % (30.5%)
④「どちらかといえば関心は低くなった」	1.4 % (1.7%)
⑤「関心は低くなった」	1.6 % (1.0%)
⑥「わからない」	8.0 % (12.2%)
⑦ 無回答	0.1 % (1.5%)
	(単数回答)

※ () 内数値は、平成27年度第3回県政モニターアンケート調査数値

問14 住宅建築及びリフォームを行う際、使用したい材の産地

■ 「長野県産の木材を使いたい」が約4割で最も高く、次いで「国産材」が3割弱と続いている。「市町村産材」及び「産地にこだわらない」を含めると約9割が木材を利用した住宅建築及びリフォームを望んでいる。

①「現在住んでいる市町村産の木材を使いたい」	7.7 %
②「長野県産の木材を使いたい」	38.3 %
③「国産の木材を使いたい」	26.1 %
④「木材を使いたい、産地にはこだわらない」	17.2 %
⑤「木材以外の材料を使いたい(木造以外の建築にしたい)」	2.7 %
⑥「わからない」	7.0 %
⑦ 無回答	1.1 %
	(単数回答)

問15 家具等に使用する材料の産地及び加工場所

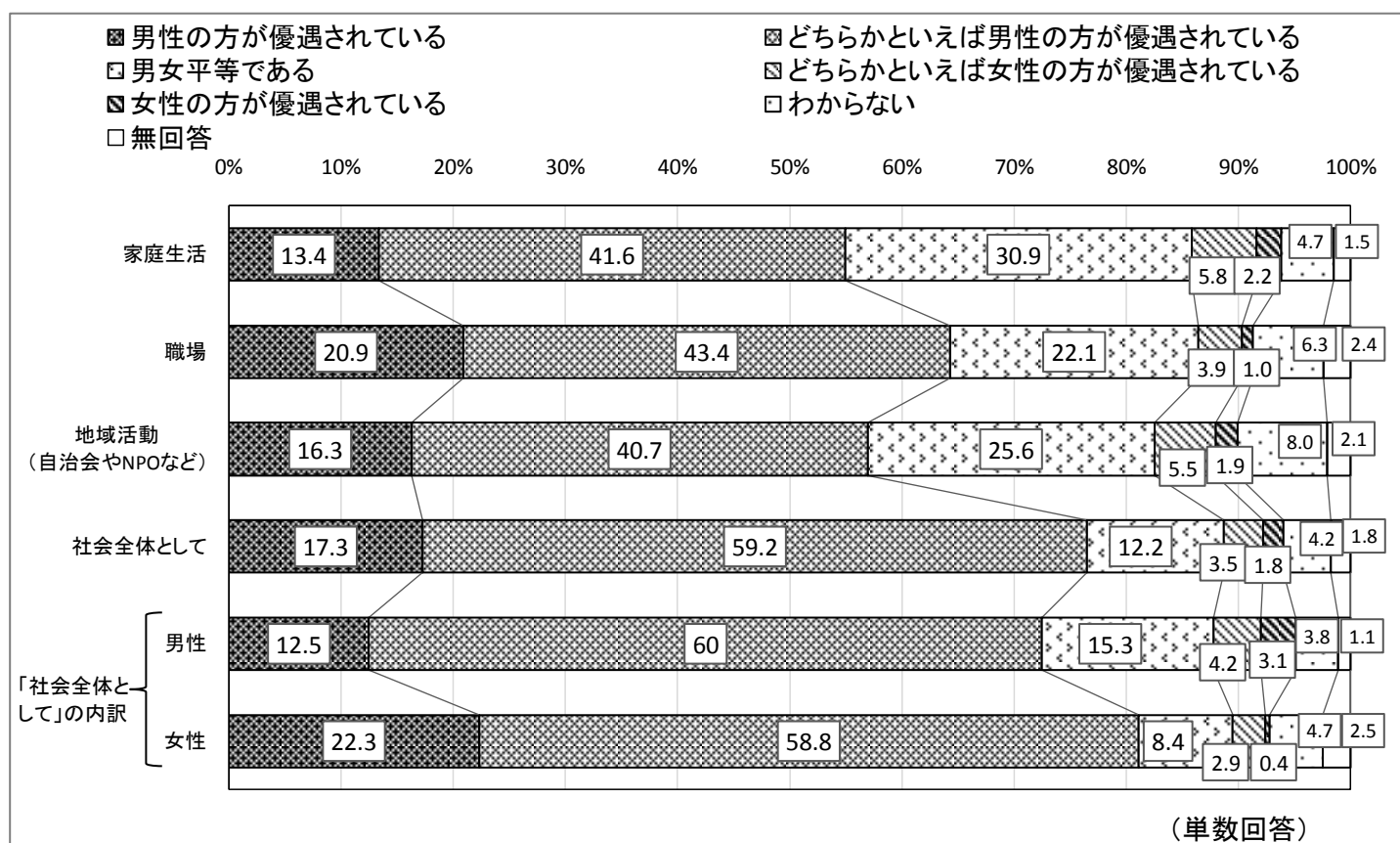
■ 「国産の木材で国内加工された製品を使いたい」が3割超で最も多く、次いで「長野県産の木材で県内加工された製品を使いたい」が約3割と続いている。「市町村産材」及び「産地にこだわらない」を含めると約9割が木材を利用した家具、食器等の利用を望んでいる。

①「現在住んでいる市町村の木材で地元で加工された製品を使いたい」	6.2 %
②「長野県産の木材で県内加工された製品を使いたい」	31.5 %
③「国産の木材で国内加工された製品を使いたい」	34.7 %
④「木材を使いたい、産地と加工された場所にはこだわらない」	18.6 %
⑤「木材以外の材料を使いたい」	1.3 %
⑥「わからない」	6.4 %
⑦ 無回答	1.4 %
	(単数回答)

5 男女共同参画に関する意識について

問16 男女の地位の平等感

■「社会全体として」では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が合わせて8割弱



問17 性別によって役割を固定する意識

■「男は仕事、女は家庭」という考え方に、「どちらかといえば反対」、「反対」が合わせて6割超、女性に比べて男性の方が性別によって役割を固定する割合が高い

